

第 185 回

クラシックファンのためのコンサート

2018年 3月15日(木) 大阪倶楽部 4階 ホール 午後7時開演

岡本 伸一郎

ヴァイオリンリサイタル

ピアノ 十川 朋子



〈プログラム〉

ブラームス

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ
第2番 イ長調 作品100

R.シュトラウス

バイオリンとピアノのためのソナタ
変ホ長調 作品18

第185回は、日本やスイスで研鑽を積み、現在は大阪交響楽団アシエイト・コンサートマスターとしても活躍されていますヴァイオリンの岡本伸一郎氏をお迎えました。

演奏された2曲は共に「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ」で、1曲目はブラームスが作曲家として確固たる地位を築いていた53歳の時の作品、2曲目はその翌年にR.シュトラウスが22歳で書いた作品でした。

1年違いで書かれたこの2曲にはそれぞれの作曲家の特徴が表れ、円熟したブラームスと若さ溢れるシュトラウスのソナタを楽しみました。

〈ご来場者のアンケートより〉

- 澄んだ音色に心洗われ、いやしと幸せを沢山いただきました。聴きどころを解説して頂いたおかげで対比の面白さを感じた。
- 美しい音色のお二人のアンサンブルで心地よかった。清々しい息吹が感じられ、ブラームスとシュトラウスの作品の対比も明確であった。
- 大変すばらしい企画で感心いたしました。お話もとても良かったです。すてきな二人のお姿と共に、楽しく、美しい演奏に感謝します。
- ピアノとヴァイオリンが語り合ってる感じでした。ピアノはダイナミックでかっこ良かったです。ブラームスのこの明るさ、新鮮でした。



NPO法人 クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南2丁目18番16号

TEL 080-4824-4001 FAX 06-7635-8590 WEB classicfan.jp MAIL contact@classicfan.jp